



第121期

株主の皆様へ

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

トピー工業株式会社

■表紙写真

乗用車用ホイールの生産開始
(メキシコ)

トピー・エムダブリュ・マニュファクチャリング・メキシコ S.A. DE C.V.は、中期連結経営計画「Growth & Change 2015」の重点テーマである「海外事業の拡充（量的成長）」推進の一環として、2013年10月に拡大するメキシコでのスチールホイール需要を取り込むため、MW Italia S.p.A.社との合併会社として設立され、2015年4月より生産を開始いたしました。

メキシコにおける乗用車生産台数は、米国や南米市場向けの輸出の増加に伴い今後も中長期的に拡大していくと見られています。近年メキシコへの進出が増加している自動車メーカーのニーズを迅速にとらえ、事業基盤の確立に努めてまいります。

中期連結経営計画“Growth & Change 2015”のもと、 企業価値のさらなる向上に取り組んでいます。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第121期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

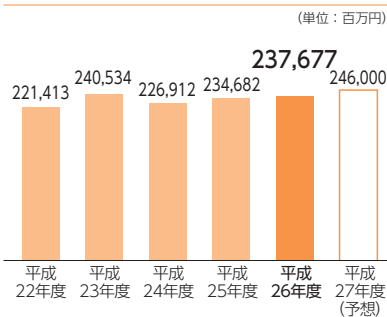
当期において、当社グループは3年目となる中期連結経営計画“Growth & Change 2015”のもと、海外事業の拡充（量的成長）と国内事業基盤の強化（質的変革）を目指して諸施策を着実に推進してまいりました。さらに鋼材の適正な販売価格の形成を図るとともに、需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上、コスト改善に取り組んだ結果、当期の連結経営成績は前期比で増収増益となりました。

当社グループは今後も、量的成長と質的変革を通じて、持続的な成長と企業価値の最大化を追求してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

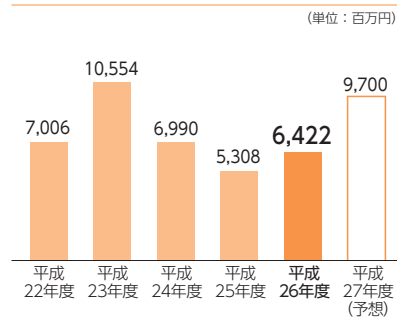
平成27年6月

連結財務ハイライト

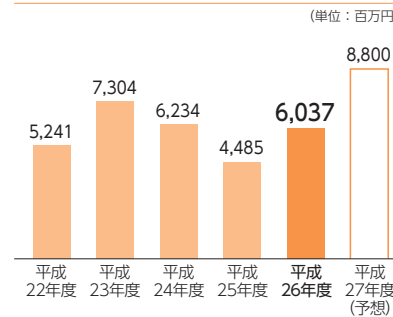
▶ 売上高



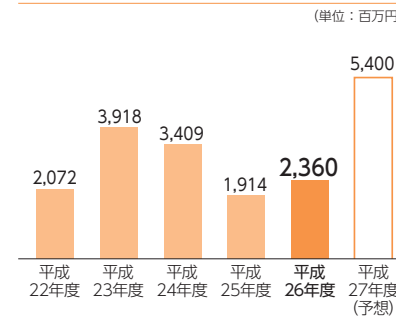
▶ 営業利益



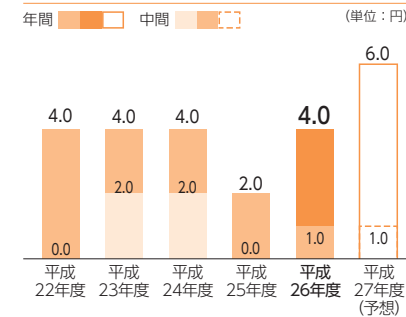
▶ 経常利益



▶ 当期純利益



▶ 1株当たり配当



Q 平成26年度の経営環境と連結業績についてご説明ください。

平成26年度の世界経済は、米国では景気の回復が続いたものの、中国及び新興国の成長鈍化により緩やかな回復となりました。わが国経済は、政府の経済対策等により緩やかな回復基調で推移しました。

こうした状況の中、当社グループはグローバルでの成長と高収益体質への変革を基本方針とした中期連結経営計画“Growth & Change 2015”の着実な実行に経営資源を集中いたしました。海外ではインドネシアの新工場においてトラック用ホイールの生産を開始し、またメキシコにおいては乗用車用スチールホイールの新工場が試運転を開始いたしました。国内では豊橋製造所（愛知県）で新製鋼工場が試運転を終え、量産体制へ移行いたしました。さらに、鋼材販売価格の適正化を図るとともに、需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上、コストの改善にも継続的に取り組みました。

この結果、平成26年度の連結業績は、売上高2,376億7千

7百万円（前期比1.3%増）、営業利益64億2千2百万円（前期比21.0%増）、経常利益60億3千7百万円（前期比34.6%増）、当期純利益23億6千万円（前期比23.2%増）となりました。

セグメント別に見ますと、鉄鋼事業は売上高が722億4千7百万円（前期比1.0%減）となりましたが、適正な販売価格の形成や徹底的なコスト削減に努めた結果、営業利益は33億8千1百万円（前期比107.4%増）と大幅増益になりました。自動車・産業機械部品事業は、軽自動車用、乗用車用ホイール及びトラック用ホイールの販売数量増加により、売上高1,510億2千5百万円（前期比2.4%増）を確保したものの、建設機械用足廻り部品の中国・東南アジア向け販売数量の減少及び競争激化が影響して営業利益は69億1千9百万円（前期比6.0%減）にとどまりました。

代表取締役社長

藤井康雄

Q 平成27年度の重点的な取り組みは、どのような内容となりますか。

平成27年度の日本経済は、中国や新興国の景気減速懸念や米国の金融政策の動向等、不透明な要素も多く、当社グループを取り巻く事業環境は予断を許さない状況で推移するものと見ております。

そのような状況の中で、中期連結経営計画“Growth & Change 2015”の総仕上げに向けて、豊橋製造所の新製鋼工場を始めとする大規模投資事業の立ち上げ、安定稼働に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。また、再建が必要な事業の再構築に取り組み、経営環境の変化に耐えうる強固な事業構造を確立してまいります。

そしてコーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が示す通り、「素材から製品までの一貫生産」という当社グループの優位性を発揮することで、鉄鋼事業ならびに自動車・産業機械部品事業を中心に収益性向上と企業価値の最大化を目指します。

平成27年度の連結業績見通しにつきましては、適正な販売価格の維持、コスト改善の継続、新製鋼工場稼働に伴う発現効果により売上高2,460億円、営業利益97億円、経常利益88億円、親会社株主に帰属する当期純利益54億円を見込んでいます。



豊橋製造所 新製鋼工場 (愛知県)

Q 最終年度に入った中期連結経営計画“Growth & Change 2015”の進捗についてお聞かせください。

“Growth & Change 2015”は平成26年度末で3年目を終了し、残すは2015年度のみとなりました。この間、鉱山機械需要や中国の建設機械需要の大幅減少等、経営環境が激変したことの影響で、当初の収益目標の達成は難しい状況となっています。

しかしながら、自動車・産業機械部品事業においては、グローバルな供給体制の構築に努め「量的成長」に取り組みました。また、新製鋼工場の建設等、国内の生産拠点の機能強化や高付加価値品の創出を中心に「質的変革」を追求いたしました。リスクマネジメント体制の強化等、経営の高度化のための諸施策も計画通りに進めました。更なる成長に向けて、事業推進体制が進展した3年間であったと振り返っています。

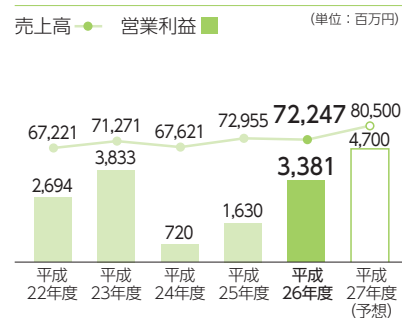
本年4月には、2017年1月の稼働を目指して、メキシコに工業用ファスナーの製造販売を行う新会社を設立することを決定しました。米州市場で拡大する自動車関連需要を確実に

捕捉するため、新工場を建設し供給基盤を整えてまいります。新たな挑戦を続けるトピー工業グループの今後に、どうぞご期待ください。

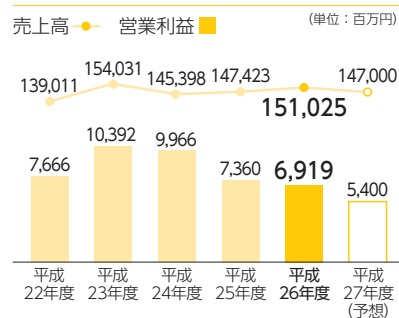


連結財務ハイライト

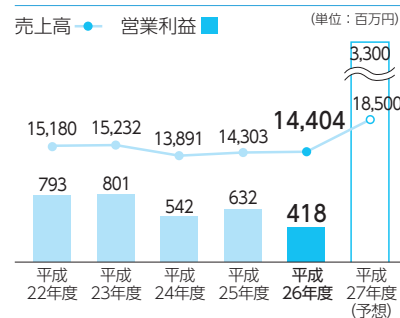
鉄鋼事業



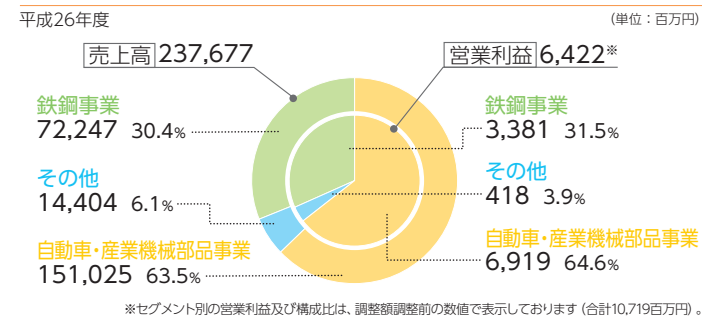
自動車・産業機械部品事業



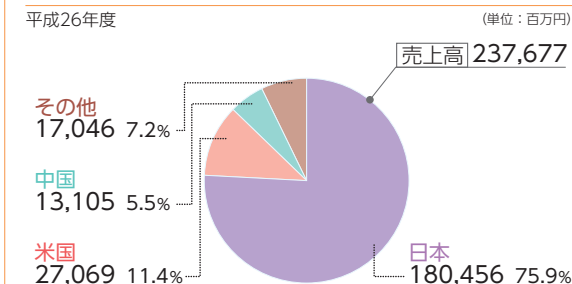
その他



セグメント別売上高・営業利益

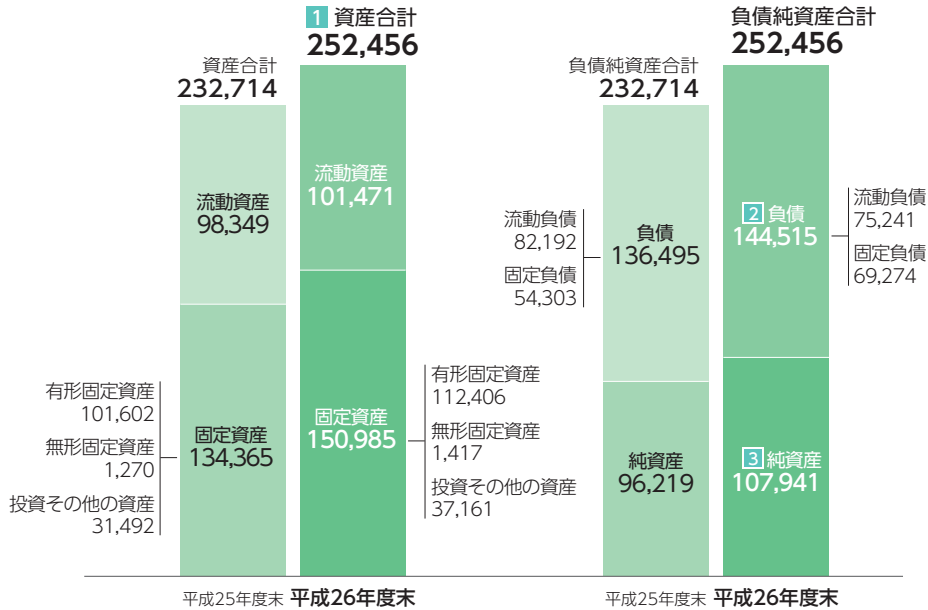


地域別の売上高



財政状態

(単位：百万円)



1 資産

現金及び預金の増加44億1千万円、有形固定資産の増加108億3百万円及び投資有価証券の増加69億3千3百万円等により、前期末に比べ197億4千1百万円増加して2,524億5千6百万円となりました。

2 負債

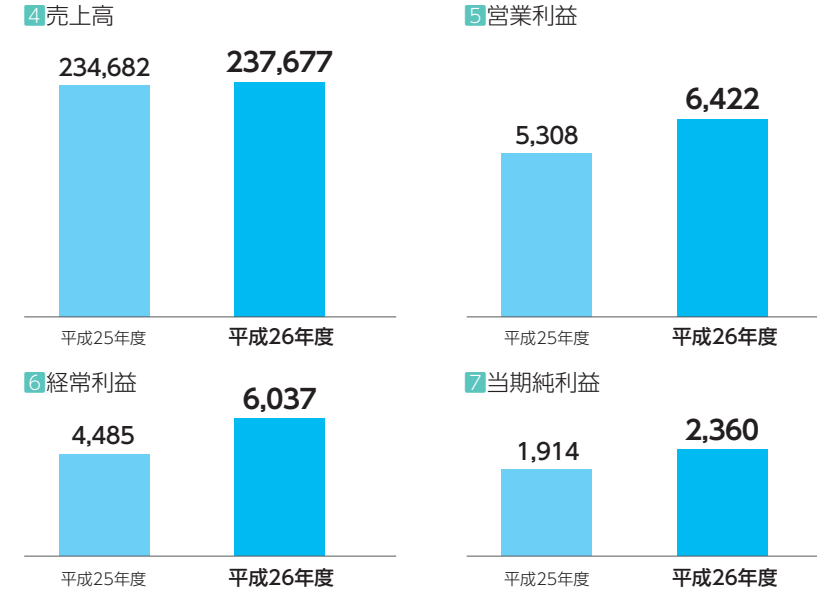
有利子負債の増加150億6千2百万円及びその他流動負債に含まれる未払金の減少88億4千5百万円等により、前期末に比べ80億1千9百万円増加して1,445億1千5百万円となりました。

3 純資産

その他有価証券評価差額金の増加49億5千1百万円及び為替換算調整勘定の増加32億6千2百万円等により、前期末に比べ117億2千2百万円増加して1,079億4千1百万円となりました。

経営成績

(単位：百万円)



4 売上高

適正な鋼材販売価格の形成により、前期に比べ29億9千5百万円増加の2,376億7千7百万円となりました。

5 営業利益

需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上等のコスト改善に取り組みました結果、前期に比べ11億1千4百万円増益の64億2千2百万円となりました。

6 経常利益

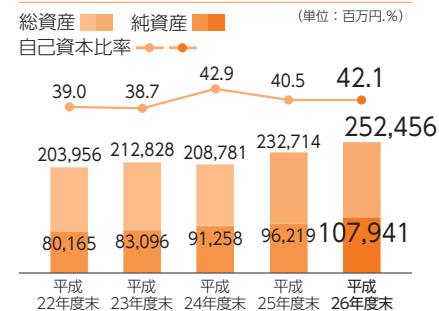
受取保険金、持分法による投資損益及び為替差損益等による営業外損益の4億3千7百万円の利益増加（純額）等を受け、前期に比べ15億5千2百万円増益の60億3千7百万円となりました。

7 当期純利益

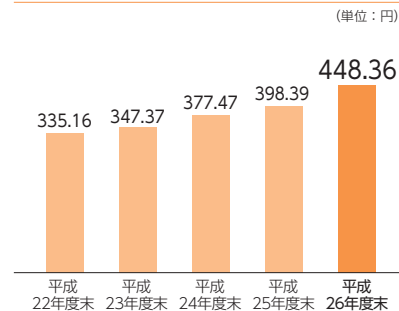
減損損失等による特別損益の13億2千4百万円の利益減少（純額）等がありましたが、前期に比べ4億4千5百万円増益の23億6千万円となりました。

連結財務ハイライト

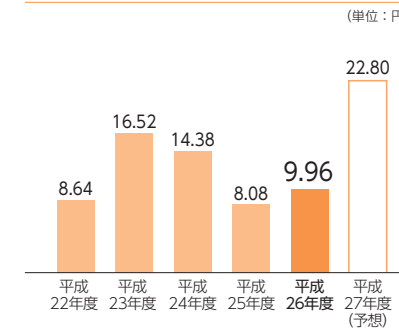
総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり純資産

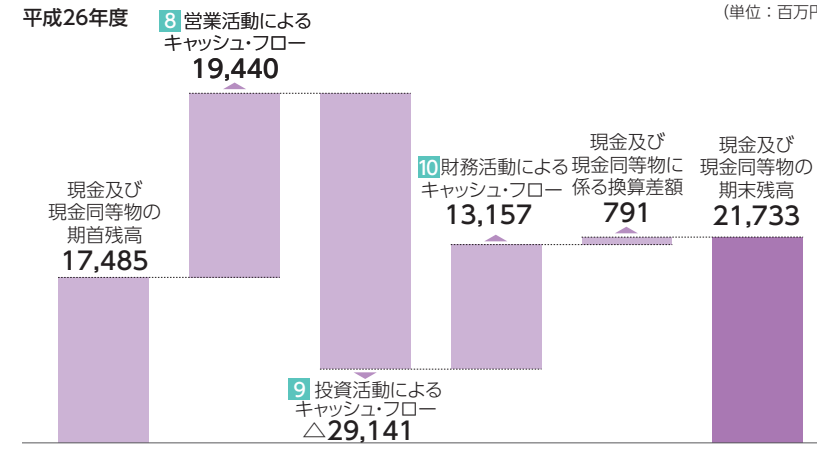


1株当たり当期純利益



キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



8 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益44億7千6百万円、減価償却費103億1千5百万円、退職給付に係る負債の増減額11億7千万円及び売上債権、仕入債務及びたな卸資産を合わせた純営業取引26億5千8百万円の資金増加等により、194億4千万円の増加となりました。

9 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出288億7千万円及び投資有価証券の取得による支出3億3千8百万円等により、291億4千1百万円の減少となりました。

10 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金と社債の純増額143億5千9百万円等により、131億5千7百万円の増加となりました。

● 新製鋼工場稼働開始

豊橋製造所の新製鋼工場は2014年10月より試運転を行った後、2015年3月より量産体制へ移行しました。事業活動の継続性強化を図るため、大地震や津波対策に万全を期すとともに、生産性や品質向上を図り、環境負荷にも配慮した最新鋭の設備、技術を取り入れています。

主要な設備である電気炉は、国内最大の環境対応型高効率アーク炉を採用し、電力原単位を低減するとともに、電力料金の安価な夜

間および休日に集中して稼働することで電力コストの大幅削減を図ります。

加えて、連続鋳造機には形鋼用のブルーム（大鋼片）と棒鋼用のビレット（小鋼片）の兼用設備を採用、外部購入していた棒鋼用ビレットを内製し、鉄源の完全自給化を図ることにより、競争力のある製品づくりを進めてまいります。

TOPICS
01



● 海洋資源調査用
クローラーロボットの 開発



高効率海中作業システムを搭載したROV イメージ（提供 海洋研究開発機構）

TOPICS
02

サイエンス事業部は、国立研究開発法人海洋研究開発機構及び日産自動車株式会社と、海洋資源調査用クローラーロボットの高効率操作技術に関する共同開発契約を締結しました。

トピー工業のクローラーロボットは、遠隔操作無人探査機（ROV）として、これまで、東日本大震災後

の福島第一原発の建物内や地下等での調査、測定に活用されています。海底の複雑な地形でも安定した走行ができる当社のクローラー技術に、周囲の状況が容易にわかるシステムを組み合わせることによる、効率的な海中作業の実現に向けた共同開発を行ってまいります。

● キャタピラー社様より
[SQEPプラチナ認証]を3年連続で取得

プレス事業部は、鉱山機械用ホイールのサプライヤーとして、キャタピラー社様より2014年のSQEP最高レベルのプラチナ認証を3年連続で取得し、3月に綾瀬製造所（神奈川県）にて認証の盾を受領しました。

SQEPは、品質・コスト・納期等を総合的に評価し、キャタピラー社様が認証する制度です。プラチナを最高レベルとしてゴールド、シルバー、ブロンズのレベルがあります。

また、造機事業部も建設機械用足回り部品のサプライヤーとして、シルバー認証を2年連続で取得しています。



社会福祉団体への寄付

当社株式を1万株以上お持ちの株主様への株主優待*は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかになっております。

寄付を選択されますと、株主様に代わって、当社から社会福祉団体へフラワープレゼント相当額を寄付いたしております。

	平成26年9月末株主様	平成27年3月末株主様
寄付選択者数	208名	186名
寄付金額	624,000円	558,000円
寄付先	日本赤十字社	交通遺児育英会

※株主優待制度の詳細は10ページをご覧ください。

株式の状況

(平成27年3月31日現在)

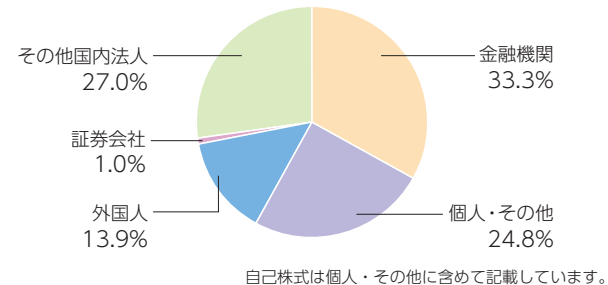
発行可能株式総数 883,000,000株

発行済株式総数 240,775,103株

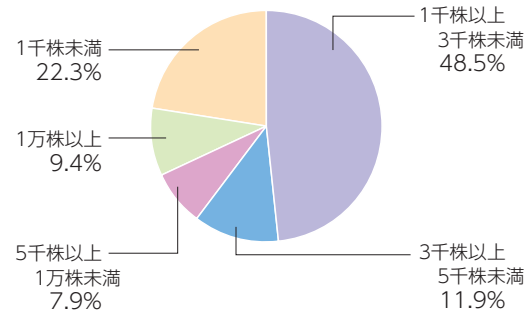
株主数 13,925名

株式分布状況

●所有者別分布 (株式数)



●所有株数別分布 (株主数)

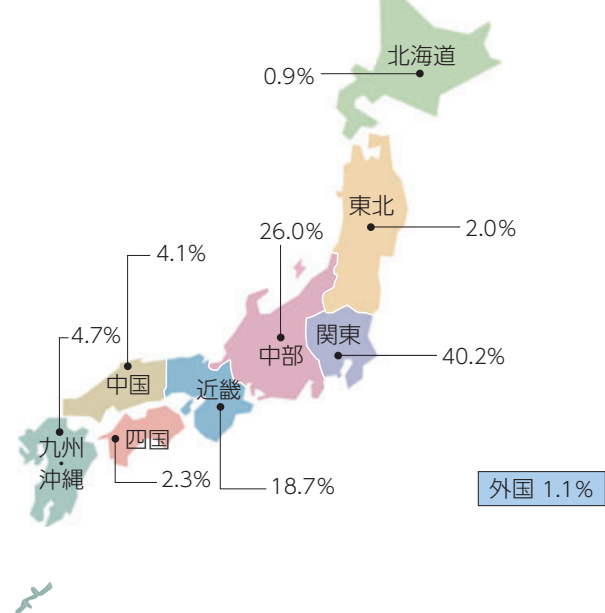


大株主一覧(上位10名)

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
新日鐵住金株式会社	48,182	20.34
トピーファンド	9,914	4.19
明治安田生命保険相互会社	9,751	4.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,556	3.61
株式会社みずほ銀行	7,878	3.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,731	2.84
トピー工業社員持株会	5,920	2.50
株式会社りそな銀行	5,909	2.49
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,746	2.43
みずほ信託銀行株式会社	4,893	2.07

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式(3,903,990株)を控除して計算しております。
3.トピーファンドは当社及び関係会社取引先持株会の名称です。

●地域別分布 (株主数)



会社概要

(平成27年3月31日現在)

商号 トピー工業株式会社

創立 1921年(大正10年)10月

資本金 20,983百万円

従業員数 単体 1,855名 連結 4,596名

主要な事業所

- 本社 東京都品川区大崎一丁目2番2号
TEL 03-3493-0777(総務部直通)
- 支店 名古屋支店 名古屋市中区
大阪支店 大阪市中央区
- 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市
豊川製造所 愛知県豊川市
綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市
神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市
- 研究開発拠点 技術センター 愛知県豊橋市
技術開発推進センター 愛知県豊橋市

連結子会社数 22社

役員

(平成27年6月25日現在)

●取締役

代表取締役社長 藤井 康雄
取締役副社長 東 彰
専務取締役 石井 泰人
常務取締役 小島 正
取締役 結城 康郎

●監査役

常勤監査役 三津間 健
常勤監査役 黒崎 民雄
常勤監査役 山本 勝
常勤監査役 小川 幸弘

●執行役員

常務執行役員 齋藤 徳夫
常務執行役員 谷 俊之
常務執行役員 棚橋 章
常務執行役員 熊澤 智
常務執行役員 木下 浩幸
常務執行役員 木嶋 伸一
執行役員 竹内 一郎
執行役員 渡部 恒夫
執行役員 中山 和久
執行役員 大洞 勝義
執行役員 山口 政幸
執行役員 坂本 弘一
執行役員 武澤 雅吉

株主優待制度のご案内

1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日から翌年の1月1日まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日から7月1日まで
・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)

3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日から翌年の1月1日まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日から7月1日まで
・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
・通院特約
保険金額:1千円/日(90日以内)

1万株以上ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日から翌年の1月1日まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日から7月1日まで
・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
・通院特約
保険金額:1千円/日(90日以内)

●フラワープレゼント または 社会福祉団体への寄付

3月末日の株主名簿記載の株主様 6月実施
9月末日の株主名簿記載の株主様 12月実施

その他

当保険は保険業法における傷害総合保険普通保険約款交通事故傷害危険のみ担保特約が適用されます。
なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局
株式会社トピーエージェンシー
TEL 03-5436-0212 FAX 03-5436-0215

第121回定時株主総会決議ご通知

平成27年6月25日開催の当社第121回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 1) 第121期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件は、その内容について報告いたしました。
- 2) 第121期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）計算書類報告の件は、その内容について報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案：定款一部変更の件は、原案のとおり承認可決されました。
第2号議案：取締役5名選任の件は、原案のとおり承認可決されました。
第3号議案：監査役2名選任の件は、原案のとおり承認可決されました。
第4号議案：補欠監査役1名選任の件は、原案のとおり承認可決されました。
第5号議案：取締役の報酬額改定の件は、原案のとおり承認可決されました。

以上

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告いたします。
期末配当金受領者 確定日	3月31日
中間配当金受領者 確定日	9月30日（中間配当をする場合）
株主名簿管理人 （特別口座管理機関）	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告（当社ホームページ掲載） ※やむを得ない事由により電子公告が できない場合、東京都において発行 する日本経済新聞に掲載いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページの紹介



トップページ

ホームページでは、会社情報のほか、ニュースリリース、株主・投資家の皆さまへ、CSR・環境への取組みなど当社に関する各種情報を公開しております。

www.topy.co.jp

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

